

- (部会長) 審議に入る前に、特定個人情報保護評価制度を所管するDX戦略課より、制度の概要について説明をお願いします。
- (関係課) (説明)
- (部会長) 確認事項等あれば発言をお願いします。
- (委員) 意見なし。
- (部会長) それでは、事務担当課より本日の議題について説明をお願いします。
- (事務担当課) (全項目評価書等説明)
- (部会長) 質問や意見等あれば発言をお願いします。
- (委員) 現行システムが、システム刷新後にガバメントクラウドを通して稼働するにあたって大きく変更されている点について重点的に示してほしい。実際に、ガバメントクラウドに関しては、健康管理システム以外のシステムの稼働の状況や予定などわかれば全項目評価書6頁の事務の内容に記されている図式と合わせて説明いただきたい。
- (委員) 今回システムの変更とガバメントクラウドへの移行は、たまたま同じタイミングで発生したということか。それとも今回のシステムの変更はガバメントクラウドへの移行に必要なシステムの変更ということか。
- (事務担当課) 予防接種事務に関しては、現行では、福岡市の閉域ネットワークで稼働している母子保健システム上で実施している。
今回システムの標準化が求められており、標準化の中身としては、国が定めたガバメントクラウド上でシステム稼働を行うというものである。これまで、業務系ネットワークという福岡市の閉域ネットワークで稼働していた母子保健システムを、国が定めるクラウド環境の中で健康管理システムとして稼働させるためのシステム改修が必要となっている。
標準化の要請がなければ、現行システムから特に変更する必要はなかったと考えられる。
- (委員) システムの委託先が日本コンピューター株式会社へ変更になっていると聞いたが、現行のシステムの保守業者はどこか。
- (事務担当課) 現行の母子保健システムの運用・保守業務については、富士通ジャパンに委託している。
- (委員) ガバメントクラウドとは、何らかの民間サービスを位置づけているものなのか。
- (事務担当課) ガバメントクラウドは、国（デジタル庁）がシステムの標準化を目指して、新たに整備して自治体に提供しているクラウドサービスであり、既存の民間サービスを直接利用するわけではない。
- (委員) ガバメントクラウド上で今後システム稼働を予定するということだが、庁内で業務系のネットワークで稼働している現行のシステムとガバメントクラウドで稼働するシステムの連携はどのようになるのか。

- (関係課) 庁内のデータ連携システムである共通基盤システムが庁内のネットワーク環境とガバメントクラウド環境の接続の働きを担っている。共通基盤システムを介して、現行の庁内のネットワークで稼働するシステムと、ガバメントクラウド内のシステムとのデータ連携を実現させていくものである。
- (委員) たとえば個別の健康管理システムに移行した予防接種の事例情報等を調べる際には、庁内のシステムからガバメントクラウドに接続することとなるのか。直接ガバメントクラウド内にアクセスすることとなるのか。
- (事務担当課) ガバメントクラウドに接続するにあたっては、庁内からガバメントクラウドに接続するためのネットワーク環境を整備しており、専用線、閉域のネットワークでつながるようになっている。
- (委員) 国が構築しているガバメントクラウドはすでに利用できる状態で、その環境に切り替えるかどうかという決定の裁量は福岡市にあるという認識でよいか。
- (事務担当課) そのとおりである。基本的には、国の、システムの標準化をガバメントクラウド上で実現していくという大きな方針があるため、ほかの自治体も同様の対応を行うだろうと認識している。
- (部会長) 他に質問等がなければ、本議題については概ね妥当であるとの結論でよろしいか。
- (委員) 異議なし。
- (部会長) それでは、本日の審議は以上とする。